

# 論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※	甲	第	号
------	---	---	---	---

氏 名 陈塔娜

論 文 題 目

Clinical Efficacy of Addition of Beraprost Sodium to Pioglitazone  
 Treatment on the Blood Glucose Levels in Patients with  
 Type 2 Diabetes Mellitus

(ピオグリタゾン投与中の 2 型糖尿病患者におけるベラプロスト  
 ナトリウム追加投与による血糖値改善効果)

論文審査担当者

主 査 委 員

名古屋大学教授

石黒 洋



委 員

名古屋大学教授

大磯 知



委 員

名古屋大学教授

神谷 香一郎



委 員

名古屋大学教授

押田 芳治



指導教授

## 論文審査の結果の要旨

2 型糖尿病の発症要因の一つであるインスリン抵抗性が心血管疾患や閉塞性動脈硬化症(ASO)に代表される動脈硬化性疾患と密接な関連があると考えられている。現在、日本ではインスリン抵抗性改善薬としてチアゾリジン系薬のピオグリタゾンが広く用いられている。一方、ベラプロストナトリウムは、生体内物質であるプロスタグランジン I<sub>2</sub> の誘導体制剤であり、強力な抗血小板作用や血管拡張作用を有するため、動脈硬化性疾患である閉塞性動脈硬化症(ASO)や肺高血圧症の治療薬として使用されている。しかし、ASO 合併 2 型糖尿病患者における血糖と血清脂質の変化についての両者の併用した研究は皆無である。

そこで、本研究では、両者の併用による ASO 合併 2 型糖尿病患者の血糖と血清脂質における臨床効果を後ろ向き解析で検証した。




本研究の新知見と意義は要約すると以下のとおりである。

1. ベラプロストナトリウムはインスリン抵抗性改善効果を有する。
2. ピオグリタゾンとベラプロストナトリウムの併用はインスリン抵抗性を加算的に改善させる。
3. ASO 合併 2 型糖尿病患者に対して、ピオグリタゾンとベラプロストナトリウムの併用は有効な治療手段となりうると思われる。

本研究は、ASO 合併 2 型糖尿病患者における治療方法に重要な知見を提供した。

以上の理由により、本研究は博士（医学）の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

## 試験の結果の要旨および担当者

報告番号	※甲第	号	氏名	陈塔娜
試験担当者	主査 石黒洋 指導教授		大石健二郎 押日芳治	 
<p>(試験の結果の要旨)</p> <p>主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ベラプロストナトリウムの作用部位について</li> <li>2. ベラプロストナトリウムのインスリン抵抗性について</li> <li>3. ベラプロストナトリウムと他の糖尿病薬の併用効果について</li> <li>4. ピオグリタゾンに加えて、ベラプロストナトリウムを追加することによる血糖低下作用の機序について</li> </ol> <p>以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、健康スポーツ医学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。</p>				